

平成30年度第2回

## 八王子市スポーツ推進審議会会議録

日 時 平成30年7月26日（木）午後7時00分  
場 所 富士森体育館 第1会議室

## 第2回スポーツ推進審議会日程

- 1 日 時 平成30年7月26日(水) 午後7時00分
- 2 場 所 富士森体育館 第1会議室
- 3 報告事項  
スポーツ推進計画の中間見直しについて . . . . . 別紙1  
  
「IFSC ボルダリングワールドカップ八王子2018」大会結果について . . . . . 別紙2  
  
障害者スポーツ普及啓発イベントの開催について . . . . . 別紙3  
  
市民栄誉章受賞者中村美里さんによる柔道教室 . . . . . 別紙4
- 4 その他
- 5 閉会

---

### 八王子市スポーツ推進審議会委員

市内スポーツ関係	姥 貝 荘 一
	澤 本 則 男
	塩 澤 迪 夫
	鈴 木 紀 幸
	平 岡 孝 子
	藤 木 寿 勝
	前 原 教 久
障害者スポーツ	佐 藤 仁
学校体育関係	齋 藤 道
	高 田 浩
学 識 経 験	梅 澤 秋 久
	作 野 誠 一

公	募	鴨	川	泰	史
		榊	原	あつ子	
事	務	瀬	尾	和	子
局		清	水	秀	樹
		佐	藤	晴	久
		青	木	英	之
		橋	本	宏	子

【午後7時00分開会】

○梅澤会長 審議会開会に先立ちまして、四谷中学校の大越委員が人事異動により、宮上中学校の齋藤先生が後任者へと変更となりました。瀬尾部長より委嘱状をお渡ししますので、齋藤先生お立ちいただけますでしょうか。

○事務局 次のとおり発令する。八王子市スポーツ推進審議会委員に任命いたします。よろしくお願いいたします。

○委員 よろしくよろしくお願いいたします。

○梅澤会長 お座りください。改めまして齋藤委員、よろしくお願いいたします。

それではただいまから、平成30年度第2回八王子市スポーツ推進審議会を開会いたします。ただいまの出席委員数は14人で、全員出席です。条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、本審議会は有効に成立をしています。本日の進行は、お手元に配付の次第のとおりです。

それでは「2 報告事項」に入ります。「(1) スポーツ推進計画の中間見直しについて」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局 それでは報告事項の「(1) スポーツ推進計画の見直しについて」御説明いたします。

八王子市教育委員会は、スポーツ基本法第10条第1項に基づきまして、平成26年3月に「八王子市スポーツ推進計画」を策定いたしました。本計画は、本市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」の個別計画と位置づけ、八王子市のスポーツ推進施策を具体化し、生涯スポーツ社会を実現することを目的としております。計画期間は平成26年度から平成35年度までの10年間でございます。推進計画の進捗状況や、社会情勢、国の政策動向等の変化に対応するため、策定後5年を目処に中間見直しをすることとなっているため、このほど、見直しを行うものでございます。

皆様、計画はお手元にお持ちいただいておりますでしょうか。それでは説明を続けます。

本日はこの件につきまして、報告事項とさせていただいておりますが、この内容の見直しにつきましては、今回事前説明とさせていただきまして、現在教育委員会から皆様に諮問をするということで手続き中でございます。次回の審議会までには諮問の手続きが整いまして、次回から議案といたしまして皆様から今日ご意見をいただいたものをもとに事務局案を一度作成させていただきまして、それを次回提出させていただきます。その内容につきまして、教育委員会からの諮問にもとづきまして皆様に御議論いただく流れとなりますので、よろしくお願いいたします。

それでは具体的な説明に入らせていただきます。お手元の資料の別紙1-1をご覧くださいと思います。

本件につきまして、内容を大きく分けると、「1. 見直しの考え方」「2. 今後のスケジュール」「3.

スポーツ推進計画 進捗状況の点検」 「4. 現計画の第1章から第4章の変更部分の確認」こちら事前に送付させていただいた内容になります。この4つに分かれますので、この項目ごとに区切って、ご説明させていただければと思っております。

まずは、1. 見直しの考え方についてでございます。

(1) スポーツ推進計画の「基本理念」「基本方針」「基本施策」につきましては、上位計画となります「八王子ビジョン2022」が今年3月に見直しが行われましたが、施策の体系に変更がなかったこと、また、スポーツ推進計画も計画期間中であることから、市の考え方に大きな変更がないため、原則は変更しないこととしたいと考えております。

続きまして、(2) スポーツ推進計画の「施策の方向性」「主な取り組み」についてでございますが、「施策の方向性」については、社会情勢、国の政策動向等の変化、東京2020オリンピック・パラリンピックのもたらす効果などを見据え、新たに取り組む施策や重点的に進めていく施策について、必要に応じて「新規・重点施策」として設定をしていきます。

また「主な取り組み」につきましても、「する・観る・支える」の3つの要素でスポーツを捉え、これまでの進捗状況を確認したうえで、必要に応じてその内容を設定・修正をすることとしたいと考えております。

A3サイズの資料、別紙1-2をご覧ください。計画の体系図をお付けしました。これまでの説明を踏まえまして、内容を整理させていただきたいと思っております。

左側の列の「基本理念」や「基本施策」は、先程も申し上げましたが原則、変更しない考えでおります。その右側、「施策の方向性」や「主な取り組み」についてですが、計画の進捗状況や、社会情勢、国の政策動向等の変化によりまして、必要に応じて見直しを考えていく部分となっております。

ちなみに、この計画の中でどのように定められているかについて説明をいたしますと、施策の中の「スポーツをする場の整備・確保」を例といたしまして、現行計画を見ていきたいと思っております。冊子の25・26ページをご覧ください。

まず、一番上に、基本施策名「スポーツをする場の整備・確保」があります。その下にその基本施策にぶら下がっております「施策の方向性」を示す2-1から2-4までの見出しが並んでいます。その次に、太枠内に基本施策のリード文があり、施策の概要を解説しております。

続いて施策の見出しごとに「現状と課題」を分析し、参考となる資料やデータなども適宜盛り込んだうえで、「施策の方向性」を例示しています。そして「主な取り組み」を表としてまとめ、その概要や取り組み期間なども掲げている構成となっております。

このように、現行計画では平成26年の策定時に課題や事業内容が検討なされておまして、向こう10年間で、どのように取り組んでいくのかを盛り込んだ内容となっております。

別紙1-1にお戻りいただけますでしょうか。

中段下をご覧ください。今回の見直しでは、新たな施策の方向性の設定につながる要因といたしまして、「スポーツを通じた共生社会の実現」や「オリンピック・パラリンピックレガシーの創出」が考えられます。施策の設定例としては、「障害者のスポーツの推進」、「性別等に関わらないスポーツの推進」、「オリンピック・パラリンピック教育の推進」などが盛り込まれてくるのではと想定しているところでございます。

再び、A3サイズの資料、別紙 1-2 をご覧いただきますと、左から 3 列目の「施策の方向性」の網掛け部分ですとか、1 番右の列の網掛け部分が見直されていく部分と考えております。

また、A3サイズの資料、別紙 1-3 をご覧ください。現行の計画に載っていない項目もありますので、具体的な事業案も含めてまとめてみました。これもあくまでも例示でございますので、後程みなさんからご意見をいただきたいと思っております。

別紙 1-1 にお戻りいただきまして、裏面「(3) 関連する他の計画等との連携」を考慮することも、計画見直しの考え方としては重要な部分としております。前回の審議会でもご説明いたしましたが、国の「第 2 期スポーツ基本計画」、東京都の「スポーツ推進総合計画」、八王子市の「八王子レガシープラン」、「八王子市公共施設等総合管理計画」、「八王子ビジョン 2022」などが関連してまいります。

次に「(4) スポーツ推進計画の計画期間」についてですが、平成 35 年度までとしておりましたが 1 年延長させ、平成 36 年度までの計画に変更いたします。これは、現行の平成 35 年度までですと、教育委員会が所掌する教育振興基本計画、また生涯学習プランの計画期間よりも 1 年早く終了してしまうこととなりますので、終了年度を 36 年度に合わせることにしまして、これらの計画が整合性を図りながら、連携し合えるものにするを目的としております。

以上が、計画の見直しの考え方となります。

○梅澤会長 資料 1・2・3 にもとづきまして事務局よりご説明いただきました。委員の皆様何かご意見・ご質問ございますでしょうか。

○委員 今回変更ということで、オリンピック・パラリンピック教育の推進について、学校の役割というのが大きくなるのかなと思います。八王子レガシープランと関係するかと思いますが、各小・中学校は東京都の方から、オリンピック・パラリンピック教育の推進ということで、かなり色々な資料が送られてきたり、取組をしてくださいということで色々な取り組みをやっているところなんですけれども。例えば八王子には「ぼくらの八王子」というのがありますよね。今も子ども達は地域の運動会で、各町会・自治会が集まってやるところで、色々な小学校が集まってもそれはみんなで踊れるんです。ですから、こういう機会に新たなそういうものがレガシーとして、ダンスだけでなく記録・性別等に関係なく、みんなができる八王子体操のようなものがあると良いのかなと。小学校であれば運動会を必ずやりますので、みんなでそれをやってとか。地域の運動会でもそれが使えるとか。そういう風なことが、とても良い機会になってレガシーとして残るものになるのではという感想です。

○梅澤会長 もう実際に小学校の方では進められているということで。プラスアルファですね。

○委員 そうですね。オリパラ教育は、やっております。

○梅澤会長 では、オリパラ教育の関係で中学校での取り組みなど、ほかにいかがですか。

○委員 八王子というより東京都の施策なので、都から直接予算がついてオリンピック・パラリンピアンを学校に呼んで、講演をしたり実演をしたりということを年に1回か2回やっていくと。ただ、学校ごとに講師を探さなければならないというところがちょっとネックになってはいますけども。必ず子どもたちと選手が直接触れ合えるような、そんな場を設定するというところを取り組んでいます。あとほかの地区では、オリンピックで実際に開催される種目、例えばブラインドサッカーを子どもたちが体育の授業でやってみるとか、ホッケーを体育の授業で一部やってみるとか、そういったことをやっているところもあります。

○梅澤会長 情報として共有しておく必要があると思います。

重点として大きく3つ施策が挙げられています。A4の1ページ表面ですね。今一番下の表のオリンピック・パラリンピック教育の推進の部分についてお話いただいたんですが、障害者スポーツの部分についてもご意見あれば伺いたいのですが。

○委員 資料を見させていただいたんですが、非常によろしいかと感じております。また先程、オリパラ教育のことが話題になったのですが、東京都障害者スポーツ協会におきましてもパラリンピアンについての相談を受けることができますので、そういう機会がありましたらお声かけ頂きたいと思えます。

○梅澤会長 障害者スポーツ関連で、ほかに何かご意見がある方はいらっしゃいますか。

○委員 最近、障害者施設からニュースポーツ的なものを取り入れたいという電話がよく来るようです。全体的にもそういった流れがあるように感じています。

○梅澤会長 障害者差別解消法が平成28年に施行されて、合理的配慮を行うこと、あるいはすべての障害のお持ちの方が差別されることなく、色々な生活、スポーツに取り組めるようになってきているところで、ますますちょっと足りないところをこのきっかけにチャンスとして埋めていく、あるいはより良いものを再構築していくという考え方。障害者スポーツの推進という点では非常に重要な点であると、私も考えます。

ではもう一つ、「性別等に関わらないスポーツの推進」というところなんですが、ご意見はありますでしょうか。男女共同参画の社会で、男女だけに実は今とらわれず、LGBTの問題であるとか、体と心のジェンダーの部分であるとか、そういうところも踏まえて、全ての人達が差別を受けることなくスポーツに参加できるようにという考え方もあるのかなと思います。おそらく、性別等の「等」には、主な取り

組みの中にある「外国人」という言葉、国籍にもとられずという意図が見え隠れします。おそらく共生社会の「共生」というのは、障害の有無だけに限らず、本当に多様な人たち同士が共にスポーツで触れあえる、そういう機会を提供する必要があるのでは、と私も考えますし、非常に良い方向性かなと思います。

ほかの委員の皆さんいかがでしょうか。施策の方向性にご意見があれば。

○委員 今の話に関連して申し上げます、「性別等」というところに含みがある訳なんですけれども、最近ではこういったことを「ダイバーシティ」、多様性という意味なんですけれども、そこには性別のことも含みますし、国籍のことも含みますし、便利な言葉というか良く使われる言葉としてあります。例えば「スポーツにおけるダイバーシティの推進」という風にすると意図するところが含まれるのかなという印象があります。

○梅澤会長 なるほど。ご提案という事で。組織、企業等では今「ダイバーシティインクルージョン」、多様性を受け入れ合う思想を持つということと、それぞれが持っている個性を抑え込むことなく活かすこと、そういう施策が重要視されていると言われていています。ぜひ新しい八王子のスポーツ推進計画においても、その思想がうまく取り込まれればと思います。

まだおおかたの方向性なので、後日事務局の方から障害者スポーツやオリパラ教育について、専門の委員にご相談させていただくことがあるかと思いますが、その時にはぜひご協力いただけたらと思います。では、「2. 今後のスケジュール」について事務局からよろしくお願いします。

○事務局 「2. 今後のスケジュール」について御説明をいたします。別紙 1-1 裏面中段をご覧くださいと思います。先程申し上げましたように、8月に教育委員会から諮問書が届くことになっています。その後、スポーツ推進審議会での審議を経まして、10月頃、教育委員会定例会で途中経過を報告させていただき予定となっております。その際の内容を、審議会に持ち帰りまして改めて審議をいただきまして、12月には素案を完成させ、教育委員会へ答申を提出したいと思っております。平成31年1月、教育委員会定例会で「スポーツ推進計画」素案を報告させていただき、その後、2月からパブリックコメント実施し、5月に教育委員会定例会で改定（案）を付議することを目標としております。そして、7月にはスポーツ推進計画を策定する予定です。今回文字の羅列で分かりづらいかと思います。今日お持ちできなかったんですが、今後のスケジュール、また審議会の位置づけだとか、何を議論していただきたいのか、資料を用意出来次第、送付させていただきたいと思っております。本日は用意ができずに誠に申し訳ございません。以上で説明を終わります。

○梅澤会長 皆さん何かご意見・ご質問等ありますか。かなり日程的にはタイトな感じがします。9月にあり、11月12月あたりにはおおかたこの見直しを全て決定するという感じになるんでしょうね。

○事務局 その通りです。

○梅澤会長 タイトであるということだけ心の隅に留めていただいて、お願いしたいと思います。続い



て「3. スポーツ推進計画 進捗状況の点検」について、事務局よりお話をお願いします。

○事務局 それでは、「3. スポーツ推進計画 進捗状況の点検」について御説明いたします。

別紙 1-4「スポーツ推進計画 進捗状況の点検」をご覧ください。5つある基本施策ごとに3つに整理をさせていただきました。1つの四角の中の表を見ていただきたいんですけども、まず「施策の方向性」をまとめまして、それについてこれまで5年間の「具体的な取り組み状況」を整理いたしました。それを踏まえまして一番下段にあります「今後の課題と方向性」をまとめまして、進捗状況の点検とさせていただきます。5つの施策ごとに説明をさせていただきますので、若干長くなると思いますが、よろしく願いいたします。

まず「基本施策1 ライフステージ等に応じたスポーツの推進」についてでございます。施策の方向性としては、子どもがスポーツに親しめる機会の創出や競技力向上に向けた支援を行うほか、成人のスポーツ習慣醸成のため、親子で一緒にスポーツができる機会の創出や各種スポーツ大会の開催・支援の実施をするという方向性でございます。また、高齢者がスポーツを通じて生きがいを感じられるよう、地域の人々の交流のしくみづくりや軽運動を安全に継続できる環境づくりなど、ライフステージに応じたスポーツの推進を目指しております。

これまでの具体的な取り組み状況としましては、スポーツに親しむきっかけとして、さらにはスポーツの普及、競技力の向上及び健康増進を図るため、全関東八王子夢街道駅伝競走大会をはじめとする各種大会を実施したほか、健康体操教室及びレクリエーション・スポーツ教室を開催しました。また、障害者スポーツの普及啓発のため、障害者スポーツの一つである「ボッチャ」の実技研修をスポーツ推進委員を対象に実施したほか、市民向けにボッチャの体験会も実施しました。

これらの今後の課題・方向性としてしましては、誰もがスポーツを身近に感じ、日常的にスポーツを楽しむことができるよう、市民一人ひとりのレベルや志向、環境に合った事業を行っていくこと。また障害者スポーツの普及・啓発とともに指導員の育成に努めていきたいと考えております。

続きまして「基本施策2 スポーツをする場の整備・確保」についてでございます。施策の方向性としてしましては、施設の老朽化対策を優先しながら、既存施設の再整備などスポーツ施設の整備・充実を図るほか、民間手法を導入することで効率的な施設運営・サービスの向上を図る。また、大学などが保有するスポーツ施設の実態把握に努め、外部資源の活用による場の確保をめざすほか、総合型地域スポーツクラブとの連携により、学校体育施設開放の新たなしくみづくりに取り組むとしています。

これまでの具体的な取り組み状況としましては、上柚木公園陸上競技場をはじめとする屋外運動施設、富士森体育館の改修工事を実施しました。大学スポーツ施設の活用につきましては、市政100周年事業の水泳教室、キャッチボールクラシックで中央大学と連携してまいりました。学校体育施設開放につきましては、利用団体である4つの総合型地域スポーツクラブが、開閉管理を試行実施したことにより、学校事務の負担軽減にもつなげております。

こちらのまとめとして今後の課題・方向性としてしましては、スポーツ施設の長寿命化を図るため、計画的に老朽施設の再整備を進めるとともに、学校体育施設開放については利用方法や利用基準を見直し、総合型地域スポーツクラブなど地元団体の活用を試行していきたいと考えております。

次に「基本施策3 スポーツ情報の充実」についてでございます。施策の方向性としましては、市の広報やホームページに加え、新たな情報媒体を活用し、スポーツイベント等の情報を発信していくほか、スポーツイベントの機会を活用したアンケート調査等によりスポーツに関する要望等の把握に努める。また、市民の利便性を考慮した施設予約システムとなるよう改善を行っていきます。

これらの具体的な取り組み状況としましては、フェイスブックで「八王子市スポーツイベント案内」のページを作成し、イベント並びにその結果情報を発信したほか、スポーツ施設及び文化施設の予約を一括して行うことができるHPサイト「八王子市施設予約システム」を作成しました。

今後の課題と方向性としましては、SNSの認知度を高めるため、主催事業の情報提供を心掛けましたが、市民の反応は期待したほどのものではありませんでした。SNSの情報発信を効果的に行うためのガイドラインを広報所管から全庁的に示される予定であるため、そのガイドラインに沿って情報を発信していきたいと考えております。

「基本施策4 スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信」についてでございます。施策の方向性としましては、総合型地域スポーツクラブの設立促進及び既存クラブの活動の安定化支援を行うこと。スポーツ関係団体が主体的に大会の企画・運営が行えるよう支援するとともに、各団体の活動の活性化を図ること。また地域スポーツを支える担い手の確保及び人財育成並びに外部指導員の活用を図るほか、八王子の特性及びスポーツ資源を有効に活用し、地域の魅力発信、地域間交流及び経済効果に資する施策を展開してまいります。

これまでの具体的な取り組み状況としましては、東京都広域スポーツセンター及び東京都体育協会と連携し、総合型地域スポーツクラブ未設置地域の町会関係者への説明会を実施したほか、都民大会をはじめとする各種大会へスポーツ関係団体から役員・選手を派遣し活性化を支援しました。また、スポーツ推進委員をニュースポーツの指導者として地域に派遣し、地域の方たちの体力向上や地域コミュニティの醸成に貢献したことに加え、八王子の特性を活かしたスポーツイベントとして平成27年に都内の自治体として初めてのトレイルランニング大会「TOKYO 八峰マウンテントレイル」を開催したほか、市内各所を写真を撮りながら回る「桑都フォトログイニング」も開催しました。

今後の課題と方向性につきましましては、総合型スポーツクラブの未設置地域へ設立についての啓発を行うほか、スポーツをまちづくり、地域づくりのツールの一つとして捉えまして、地域の魅力発信等、多面的効果を活用した施策展開を検討することとしています。

最後に「基本施策5 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて」についてでございます。施策の方向性としましては、「観る」スポーツの環境整備や大会の運営や選手を「支える」取組を実施すること。また、大会を契機とした「する」スポーツの振興を図っていくこととでございます。

これまでの具体的な取り組み状況としましては、2020東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致に向けた情報を収集、提供したこと。トップアスリートやオリンピックを招いて、ジュニアを対象に教室を開催したこと。またIFSCボルダリングワールドカップをエスフォルタアリーナで開催したほか、2016リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会開催に合わせまして、パブリックビューイングを開催したことなどが挙げられます。

今後の課題と方向性としましては、ジュニア育成については今後も引き続き実施し、子どもの競技継続のためのモチベーションアップにつなげていくこと。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック

競技大会に向けてさらに気運を高めるため、普及啓発事業を引き続き実施していきたいというふうにまとめさせていただきました。

以上で説明を終わります。

○梅澤会長 別紙 1-4 ですね。1 枚目の表面から何かご質問がある方はいらっしゃいますか。「ライフステージに応じたスポーツの推進」及び「スポーツ施設の整備・確保」です。

○委員 具体的な取り組み状況の中でも「ボッチャ」の実技研修及び体験会を実施したこと、こちらは実際されたことなのでよろしいかと思うんですが、今後の課題と方向性というところで、今障害者スポーツに吹いている追い風というのは、2020 年のパラリンピックがあるからなんだろうが、実際その 2020 年のパラリンピックであれだけの種目をやるということですね。そのなかで当然日本の選手もたくさん出るわけですけども、その下には裾野というかその競技に取り組んでいる障害のある方もたくさんいます。そうしたことから「ボッチャ」を一つのツールというか、子どもから高齢者まで楽しめるスポーツという事で使うことはよろしいかと思うんですが、今後の課題と検討ということで「ボッチャ」を全面に出していくというのはどうなのかなという感じがいたします。

今福祉専門学校などでも、ボッチャはとても良いんですが、やはり運動量が稼げないということで、逆にレクリエーション・スポーツ的な種目を障害者向けにアレンジして取り組みたいという意見が結構出ております。ですからこの書き方でも良いんですけども、そこを匂わすような、できればこの場ではそういった認識を少し持っていていただければよいのかなという感じがしました。意見としてです。

○梅澤会長 ボッチャは良いんだけど、ボッチャだけではということですよ。今のも踏まえてパラスポーツを考えていければなと思います。

○委員 基本施策 1 の施策の方向性の 2 番目、「親子で一緒にスポーツができる機会の創出」という部分ですが、これはやはり小学校だとか中学校の中で取り入れられるとか、地域では、八王子は子ども会という組織がありますので、そういったところを通じて大いに取り組んでいくというのが一つの手ではないかと思います。それから地域によっては、運動会もやっていますから、その種目の中に取り入れるように力をいれていくことも必要だと思います。

○委員 施策の 2 のスポーツをする場のところですが、大きな体育館などの施設がある地域は良いですけども、周辺部の地域へ行きますと、どうしても学校の施設が中心になると思うんです。学校の施設開放をするのは、総合型地域スポーツクラブと連携という格好になるかと思うんですけども、実際にはまだ立ち上がっていない地域がありますし。具体的な取り組みの中で、施設開放の鍵の開閉を今 4 つの総合型地域スポーツクラブが試行しているところだとありますが。こういうことが、利用する団体にとって利便性が良くなれば良いんですけども、逆にそうでなくて、使うんだから当たり前という考え方もあるんでしょうが、やらされ感というのがだんだん強くなってくると、そんなこと言うんだらどうしようか、というような話が出てきたりすることがあると思うんですね。最近特に小学校な

んかでは、放課後子ども教室というのがだいぶ取り入れられておりまして、そこでも子ども達の受け入れをするのは総合型スポーツクラブでと声がかかってくる。そうすると、なんでもかんでも、それもかという風に、やらされ感という言葉が悪いんですが、そういうのが強くなっていくがあるので、そこら辺を調整していく必要があるのかなという風に思います。

○梅澤会長 自分たちがやりたいことと違ったことで規制がかかってくると、やらされ感というのが・・・

○委員 この後計画の見直しの部分でも出てくると思うんですけど、昔「体力づくり」というのがあって、町会の組織の一部だったものですから、結構地域と密着していました。それが10年ほど前から、地域で自主運営をしようということで、総合型地域スポーツクラブという風に変えているんですけども、たぶん実態とすると地域からちょっと離れているというような気がするんです。というのは、前の体力づくりというのは、八王子市の23地区全部にあって実施をされていたし、それぞれ23地区の連合体というのも市の中であって情報交換もするし、色々交流もしていたというのもあって、どこの地区が何をやっているというのも分かる、そういう場でもあったし、地域で受け入れやすかったわけです。というのはそれぞれの地域の町会・自治会の役員の一つとして体力づくりの運営委員というのが出ていました。ところが総合型地域スポーツクラブの実態はそれとちょっと違うんですね。地域の自主運営ということで、町会・自治会から選ばれたのではない運営委員というのが運営することになっている。そうすると、地域の中に「皆さん運動しましょう」と入っていく時「いや、あなたたちは運動が好きだからやっているんじゃないの？」と、ちょっと見方が変わってくる。種目数を増やして色々な団体がそれぞれ自主運営をして、総合型地域スポーツクラブというのを形成しているわけなんですけれども、そういうことになると、団体も「自分たちが楽しむ」ほうが強くなって、やっている種目を地域に浸透させよう、子ども達からお年寄りまで幅広く受け入れましょう、というのがどうしても薄くなるという傾向があるんです。その辺がこれからの課題というところですね。

○梅澤会長 「する」「観る」「支える」、最近では「知る」というのも言われておりますけども、「する」方に傾斜すると、どうしても「支える」という方が少し弱くなっていくのかな、というのが今のご意見かと思います。その辺のバランスをとるようなデザインをする必要があると思います。

1枚目の表についてはよろしいでしょうか。では裏面「3 スポーツ情報の充実」及び「4 スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信」についてご意見いただければと思います。

○委員 基本施策の4ですけども、実は総合型に移行してから10年経っているんです。それで、やらなければならない事項の中に、設置していない地域に対する啓発をやりましょうと。10年経ってもできないのはなぜなのか、それまでは各地区にあったわけです。それが地域で自主運営をしようという格好で取り組んで、出来ているところもあります、まだ10年かかってもできないところもあります。という、その辺が東京都の人が来て説明してもらおうとかっていうことではなくて、根本的な問題があって、そこが抜けているんじゃないかなと思うんです。

○梅澤会長 他の委員で総合型地域スポーツクラブについて、何か良いアイデアがあれば。

○委員 国の計画では、総合型スポーツクラブに関して、質的充実という事が言われていて、文面だけ見ると量はもういい、というように読めるんですけど、個人的には一切そういうことは思っていないくて、八王子でこういうふうに未設置地域にこれからも設立していくことを目指していくよ、と明言されていることは、非常に良いことだと思っています。その地域ごとの事情があるので難しいことだとは思いますが、計画の中にこういう意思が表明されていることは良いことだと思っています。

○委員 今総合型の話が出ていますが、東京全体から見ると八王子は20くらい出ています。一番最先端なんです。それはまず広げるところから始まって、推進委員会の昔の頃に、体力づくりを解散させて総合型にしようじゃないかという意見を1年くらいやったわけです。それでなぜ体力づくりがダメになったのかというと、老朽化しちゃって、今の話では地域の人と密着しているという話はあるけれども、種目が足りないとか、色々問題があったので総合型に変わっていったという経緯があるんです。その中で、今私は第四地区と関わっていますが、第四地区は「体力づくり」という名前を残しながら総合型地域スポーツクラブに。それから第六地区あたりも「体力づくり」という中に上手に溶け込んでいると。場所によって20いくつかの中には色々あると思うんです。でっこみへっこみが。一部を見て話をするんじゃないで、全体を見ていただいて、その辺を役所に調査をしていただいて進捗状況をみていただきたいという風に私は思っております。

○梅澤会長 スポーツ庁のほうから運動部活動ガイドラインが出されて、中学校の方はどうですか。結構部活動の活動時間が狭くなってきたという事があると思うんですが。

○委員 東京都は3時間を目安にと言っているんですけども、例えば休日とか。先生方に「じゃあ3時間お願いします」と言えるかということ、4時間以上じゃないと報償費がでないんですよ。だからちょっとその辺は、私の立場から先生方に「3時間をお願いします」とは言いにくいところなんです。そういうところをいくつか解決していかないと、あの通りにはいかないかなと感じます。

○梅澤会長 実は部活の時間が制限されたことによって、そこで活用できないかという話になっているのが総合型スポーツクラブで、別に学校内での活動は制限されるんだけど、地域に出たものについてはそこまで制限できなからうということで、そこら辺を上手に利活用できると。お互いが支え合えると何か良い新しい取り組みができるのかなと思っています。

○委員 今の話で第三地区では、中学生は第六中学校なんですけれども、中学生の部活でやりたい子どももスポーツクラブの時間帯に保護者の許可を得て来ている種目がいくつもあります。一番多いのは今のところバトミントンと卓球です。学校も親御さんも了解をして来ている、ということです。

○委員 たしか総合型が出来る時に色々説明を受けていましたけども、ヨーロッパ、外国の場合は学校のクラブ活動は無いから、地域にクラブハウスを作って、そこへ地域の人が集まって色々指導したりするっていう形だと聞きました。学校のクラブを変えていくというのはなかなか難しいんじゃないかと思うんです。だから上手に今みたいにスライドしていくという。クラブによって顧問の先生もすぐく

熱心な先生もいるし、そうでない人がいるのも現状ですよ。だからそういうところの人達は総合型に流れていけば良いわけで。上手に使える良いんじゃないですかね。

○委員 地域ごとの特性がありますからね。

○梅澤会長 子どももそうだと思うんです。もっとやりたい生徒さんもいらっしゃるし、本当にちょっとで良いという生徒さんもいますし。そのニーズに合わせて。部活動も小さくなったので、それ以外の時間を上手に習い事の一環というような形で総合型を利活用できれば良いんじゃないかということかなと思います。

○委員 総合型だけでなく、体育協会には36競技あるわけで、そういうところに入っていたとしても十分スポーツはできるわけですから。本格派を勧めるなら体育協会で、半分レジャーなら総合型で、と上手にやっていくやり方があると思います。方向をどっちに持って行くかは行政の方で考えていただいて。教育関係なんで私達はあまり立ち入れないので。そこを上手に。

○梅澤会長 学校から出てしまえば、地域の管理下で色々なことができると思います。体育協会の活動だったりとか、総合型クラブの活動だったりとか。私は塾に、私は家で休みます。そこは自分の判断で。ただ色々準備されていますよ、ということを明らかにしておくことが大事なかなと思いますね。

その他、3番と4番についていかがでしょうか。

私はこの3番のSNSが全然生きていないというのが面白かったんですけども。私は大学の教員なので大学生に「まだ先生フェイスブックなんですか」と言われるんです。今学生たちが一番やっているのは何だと思いますか。インスタグラムです。インスタグラムはフェイスブックとも連動出来るんです。つまり、インスタに上げるとそのままフェイスブックにも連動して上げられるという。誰がどう使うかは分かりません。結果的にインスタをやったところでそれを使う人はいないかもしれませんが、紙のようにたくさん印刷してお金をかけて撒くものではないので。要するにお金かけずに一気に情報を上げることが可能なツールだと思うので、上手に利活用されるのが良いかなと思います。

では最後、「5 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて」について何かございますでしょうか。

○委員 今後の課題というところで、ジュニア育成についてだいぶ力が入っているようですが、シニア育成についてはあまり力が入っていないんですか。体育協会では平成18年からジュニア育成ということで東京都から予算がおりています。平成24年にはシニア育成ということで予算がおりっていますが、私の方ではなるべく予算を増やしてくださいと。予算が増えればそれだけ競技種目も増えるということで、今まで50万円くらいだったのが100万円くらいまで出てきたと。要するに、ジュニアは当然大切なんですけども、これからは私達みたいな年配も頑張らなきゃいけないんで、シニアの方にも少し力を入れていただきたいなという感じはします。

○委員 加えて、私はソフトテニス競技をやっているんですが、5月にシニア講習会を実施しました。驚いたことにシニアの方がたくさんみえました。50人近く来て、富士森のコートを全部使ってやったんですけども、予想していたよりも来たなど。それだけ健康づくり、体力づくり、そういうものにシニアの思っているのが強まっているのを感じましたので、ぜひオリンピックの機運を活用してつなげていただければと思います。

○梅澤会長 超高齢社会に向けて。よくよく考えてみると、オリパラ競技大会に向けてというところだとやっぱり、まずはジュニアからという。また違った生涯スポーツとしては必要なと思います。今回のオリパラ大会に向けてというところでは、やっぱりジュニアないし今のアスリートに、というところになるかと思います。では、本件について以上にさせていただきたいと思います。続きまして「4. 現計画の第1章から第4章の変更部分の確認」について事務局より説明をお願いします。

○事務局 その前に資料の1-5ですけれども、こちらの資料1-4を作成するにあたりまして参考資料としましたので、ご確認いただけたらと思います。

それでは「4. 現計画の第1章から第4章の変更部分の確認」について御説明いたします。こちらは事前に資料を送付し、見ていただいたところですが、時間がない中で大変恐縮でございました。説明のため、ちょっとお時間をいただきたいと思います。

p 2、「第1章計画の概要」、「1 計画策定及び改訂を趣旨」をご覧くださいと思います。

大きく分かれたまとまりの上から3つ目「平成23年に我が国を襲った~」からの段落ですけれども、内容が前々回のロンドンオリンピックの内容が含まれるため削除をいたしました。後程追加部分で、前回開催したリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの内容を盛り込もうと考えております。

その下の「さらに、この10年間に~」の部分ですが、こちらも追加部分で同様の内容を盛り込みますので、削除しております。

追加部分は赤字で書かれた段落になります。策定から現在に至るまでのスポーツを取り巻く環境の変化、例えばリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックで、日本人が史上最多のメダルを獲得し、この頃からパラリンピックへの注目度も高まったこと。また、今後東京で、平成31年にラグビーワールドカップ2019が、平成32年に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることなどを記載し、こうした変化に対応するため、スポーツ推進計画改定版を策定する、としました。

次にp 3「2 計画の位置づけ」についてです。基本は前回の内容と変わらないのですが、国の「スポーツ基本計画」が改定したこと、また東京都においても「東京都スポーツ推進計画」及び「東京都障害者スポーツ振興計画」を見直し「東京都スポーツ推進総合計画」にまとめたことなどを追記しております。

次にp 4「3 計画の期間」です。策定時、平成26年度から平成35年度までの10年間としておりましたが、市教育委員会の関連する計画である「教育振興基本計画」「生涯学習プラン」の計画終了時期が

スポーツ推進計画の1年後になることから、整合性を図り、終了時期を2つの計画に合わせた平成 36 年度までとします。

「4 計画における「スポーツ」の定義」については変更がないため、修正なしとします。

次に p 5 「第2章 計画策定の背景」「1 社会情勢の変化とスポーツの関係」です。ここにつきましては、記載している数値を新しくするほか、「高齢者の生きがいづくり」の部分では「健康寿命」に触れたほか、「障害者スポーツの推進」の部分では、平成 28 年に障害者差別解消法が施行されたこと、また障害のある人がスポーツをする目的が障害のない人と変わらないことなどを、スポーツ庁が実施した調査をもとに記載しました。

その下「地域コミュニティの再生」の部分では、内閣府が行った国民生活白書の内容が古いものであったため、同じく内閣府が行った別の調査結果から、高齢者の生きがいの上位がスポーツであること、また社会活動に参加して「友人ができた」「健康や体力に自信がついた」等の結果を得られたことから、スポーツを通じた交流が地域コミュニティの再生につながるものと記載しました。

「スポーツによる社会貢献」の部分については修正をしておりません。

p 7 の「国や都の動向」をご覧ください。ここについては、国が平成 29 年に「スポーツ基本計画」を見直し「第2期スポーツ基本計画」を策定したので、その内容を反映しております。

続きまして p 8 になります。東京都の計画についても、これまでの「東京都障害者スポーツ推進計画」「東京都スポーツ推進計画」を見直し、平成 30 年に 2 つの計画の内容を盛り込んだスポーツ推進の新たな指針として「東京都スポーツ推進総合計画」を策定しました。こちらにも策定された内容を反映しております。これに伴い、これまで掲載していた「東京都障害者スポーツ振興計画」の内容は削除いたしました。

p 9 をご覧ください。「3 これまでの市の動向」の部分につきましても、スポーツ推進計画の前身であるスポーツ振興計画時に行ってきた市の取り組みが記載された部分になるため、今回の改定では計画の最後につける参考資料として記載したいと考えております。

p 10 「第3章 計画の基本的な考え方」の「1 スポーツの意義」と p 11 「2 計画の基本理念・基本方針」については変更はありません。

続いて p 12 「3 計画の数値目標」の「①スポーツ実施率」については、直近の新しい数値に修正しております。現状としましては、策定時の平成 29 年のスポーツ実施率の数値目標 50%を超えており、60.3%となっております。しかし、平成 25 年度以降 63%前後で推移をしている状況であるため、今後実施率アップのさらなる施策展開が必要となります。

また「②総合型地域スポーツクラブ数」についてですが、現在のスポーツクラブ数に修正しております。こちらの数字は策定時の平成 29 年の数値目標 22 団体を下回っております。現在、総合型地域スポーツ



クラブを設立していない地域の町会・自治会等に赴き、クラブの設立に向け話し合いをしていきたいと思っております。

最後に p 13「第4章施策体系」については、見直しの方針のとおり原則は修正しない予定となっております。p 14の図表の中で新たな方向性を設定する部分については、変更していきたいと考えております。

以上で説明を終わります。

○梅澤会長 委員の皆様から何かご意見・ご質問等ありますでしょうか。

○委員 p 2の下の方から p 3にかけての記述の中で、リオデジャネイロオリンピックのメダル獲得数、それから「続くパラリンピックでも・・・」という記述があつて「大きな夢と希望を与えた」とあります。それで「パラリンピックについても、大きな注目を集めるようになりました」という記述がありますが、この部分というのは、パラリンピックに関して強調したいのかどうなのかというところが気になりました。もしパラリンピックを強調したいのであれば、p 3の「大きな注目を集めるようになりました」というところで、その次のラグビーワールドカップを抜いて、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が・・・」としてしまった方が、なんとなくパラリンピックに関する認知度が上がってきた、さらに東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので関心が一層高まっていくことが期待される、というふうにつながるのではないかと思います。もちろん、この記述がパラリンピックに特化した記述でなければ全然問題ないと思うんですけど。

○梅澤会長 段落の頭が日本のスポーツを取り巻く環境についての変化という書き出しなので、そう考えるとリオのオリパラ加えてラグビーワールドカップ、及び次のオリンピック・パラリンピックという形なのかな、ともとれなくはないですが。

○事務局 開催順で記載しています。たしかに分かりやすさというところを前にというご意見もあるかとは思いますが、その辺は検討させていただきます。

○梅澤会長 時系列もありますしね。

○事務局 そうですね。

○委員 p 4「計画の期間」というところで、1年間延長しましたというところは良いんですけども、最初の基本計画だと5年目に中間見直しをしますという記述があつたかと思うんですが、このところではそれが抜けているんですけども。

○事務局 基本的に今回が5年目の中間見直しで、スポーツ推進計画につきましては1年延ばしまして、36年に一端終了して、それでまた次の計画を策定するという・・・

○委員　ここでやろうとしているのが5年目の中間見直しだという、そういう認識でよろしいですか。

○事務局　はい。

○梅澤会長　今の場所、p4の一番上、平成35年及び平成36年という書き方があるんですが、これは元々計画にあったからこの「平成」の記載を残しているのか、p3の方は黒い丸印となっていて、おそらく新しい元号に対応するようにしているのかなと思うんですが。どっちに揃えるのか。

○事務局　これは新元号の方で。

○梅澤会長　この冊子が出るのはいつなんでしょう。

○事務局　来年の7月の予定です。

○梅澤会長　来年度の7月ですね。ではもう新しい元号になっていますね。おそらく八王子ビジョンだとか市の他の計画が「平成35年」とかっていう記載でやっていると思うので、きっとそちらも直しますよね。そちらを直さないで整合性が取れなくなるかと思いますが。

○事務局　市として統一の考え方をまとめますので、そちらに合わせたいと思います。

○委員　p6の「障害者スポーツの推進」という項目の中で、スポーツ庁が実施した調査ということで、障害のある人のスポーツや運動を行う目的として、「健康の維持・増進のため」というのが37.2%、これが元々の計画は平成23年度の東京都の調査が出ていて、それを見ると70.7%という数値があるんですね。なぜそんなに違うのかなど。なおかつ、下のところにいきますと元々の計画に記載されている部分で、「障害の無い方と差異はありません」とあります。本当にそうなのでしょうか。

○梅澤会長　新しい数値に書き換えられている部分ですよ。

○事務局　数字につきましては、しっかり確認した上で記載させていただいたつもりではあるんですが、改めて確認をさせていただきたいと思います。

○梅澤会長　元々の冊子のほうでは、70.7%、54.0%ということですね。そうすると大幅に数値が違いますね。大幅に違っているのに、障害の無い方と差異はないってなると、整合性が持てなくなりますね。

○事務局　はい。確認をさせていただきます。ありがとうございます。

○委員　それからその下ですけれども、元々の計画の中には、子どもの記載が入っていたかと思うんですけれども、新しい記載には高齢者の記載しかなく、子どもの記載が抜けているように思います。元々

の方ですと、「スポーツを通じた交流は、子どもや高齢者の見守りといった地域の安全・安心の実現・・・」と書いてあるところです。

○梅澤会長 消してあるところですね。新しい記載になると、子どもに関する記載が抜けたままで話が進んでいるということですね。

○委員 この項目は「地域コミュニティの再生」というところなので、「子ども」の部分は抜くことができないかなと思うので。

○梅澤会長 おそらく引用文献が内閣府の「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査結果」という事なので、この文献には子どものことは出てこないのかなと。もし地域に関連する書物の中で、子どもに関するものがあればそれを引用されると良いと思います。

○委員 先程、障害者スポーツ推進のところでは数値が大きく変わっていたという話があったんですが、スポーツ庁がやったのは全国調査なんですね、スポーツ財団がやった。その数値が修正後の計画には記載されています。元々の記載は、東京都がかつて平成23年度に都内でやった調査なので、数が違うという事でした。もちろん事務局の方でご確認ください。

○梅澤会長 東京都の方が一番運動に対する意識が高いと言われていています。地方に行けば行くほど、比較的楽に生きたいと思っている方が多い、健康のために動こうという意識が減るということですね。と考えると、東京の資料で数値が高めに出るというのは妥当かなと思います。事務局でご確認いただいて。

○委員 p7でスポーツ基本計画の表になっているところなんですけども、元々の計画の中の真ん中に一つ項目が増えました。それと最初の「今後10年間を見通したスポーツ推進の基本方針」という部分の「今後10年間を見通した」の部分が抜けているんですけども、これはなにかあるんでしょうか。新しく赤字で書いてあるのが、「スポーツ推進の基本方針」とだけになっているんですけども。

○梅澤会長 これは平成24年にスポーツ基本計画が最初に出て、5年後に見直しをしているので、当初は10年後、5年後を見越しているんですけども、5年経って第2期スポーツ基本計画を新しく出したので、年数の記載が変わっているということです。

○委員 その表の一番最後のところなんですけれども、ここも新しいものは数字の項目がだいぶ減ってしまっていて、内容で言うと、元々の計画に対して「地域」とか「子ども」という部分が無くなってしまっているものですから・・・

○委員 今のところはたぶん、見出しに「第2期」と入れた方が良いと思います。7本柱が4本柱になっているんですけども、そのことが分かれば4本柱の中にその内容が含まれていたはずですので、下の見出しの「取り組むべき施策」の後ろに「第2期」と入れれば内容的には整合が取れると思います。

○梅澤会長 第2期であることが明らかになった方が、それで一目瞭然になると思います。本文に書いてはあるんですけども。

○事務局 その辺がはっきり分かるような記載をさせていただきたいと思います。

○委員 3段あるうちの2段目と3段目が第2期ですね。

○梅澤会長 そうですね。表の3つのうちの下の2つですね。後半は削除だったり変わってなかったりする部分になるんですが。p12あたりはよろしいですか。

○委員 p2の「1 計画策定及び改訂の趣旨」の「改訂」の「訂」が別の資料では「定」とあって、ご確認いただければ。

○梅澤会長 学習指導要領のようなものはp2の「改訂」を使いますね。もう少し大きいものになると「定」の方を使うような気がします。どの規模かによって「訂」の字が変わってくるかと思います。

○事務局 これも確認させていただきます。ありがとうございます。

○梅澤会長 p14最後のページの赤字のところ冒頭にお話いただいた新しい施策に関わってくるということですね。

○事務局 そのとおりです。

○梅澤会長 その他事務局の方から追加することはありますか。

○事務局 今説明させていただいた部分は、まだ案の段階ですので、今後ご審議いただいて変わるようであれば変えさせていただきます。

○梅澤会長 冒頭に事務局からお話がありましたように、今回の件に関しましては、まだ追加でご意見を受け付けられるんですよ。

○事務局 はい。

○梅澤会長 私が伺っているのは、8月10日金曜日までに事務局の方にメール、電話、ファックス等でお知らせいただければと思っております。よろしくお願ひいたします。  
それでは次に入りたいと思います。報告事項(2)です。「IFSCボルダリングワールドカップ八王子2018の大会結果について」報告をお願いします。

○事務局 別紙2をご覧ください。それでは「IFSCボルダリングワールドカップ八王子2018」大会結果について御報告します。大会は、平成30年6月2日土曜日に予選、6月3日日曜日の午前中に準決勝、午後から決勝が行われました。出場国数と選手数ですが、27か国・地域から男子91名、女子68名の合計159名の選手が出場しました。当日の観客数ですが、6月2日の予選が1,140名、6月3日の準決勝・決勝が2,453名の方にご来場いただきました。なお、八王子開催ということで、6月2日土曜日の予選に179名、6月3日日曜日の決勝・準決勝に18名を無料御招待しています。

次にメディア数ですが、テレビ17番組、新聞社等24社、Web52社で総勢184名の方のご来場がありまして、TV放送もNHK BS1、NHK BSマルチ、スカイ・Aで取り上げられました。

選手成績につきましては、女子で野口啓代さんが優勝、野中生萌さんが2位に入賞。また男子でも檜崎智亜さんが2位に、杉本 怜さんが3位に入賞しました。

市が主催した大会終了後の、レセプションパーティでは、国際スポーツライミング連盟のスコラリス会長をはじめ、大会役員、選手・コーチなど約250名の方にご参加いただき、大変盛況の内に行うことができました。

説明は以上になります。

○梅澤会長 ありがとうございます。何かご質問等ありますか。入場料はいくらだったんですか。

○事務局 2,000円くらいだったかと思うんですが。

○梅澤会長 結構な経済効果なのかなと思ひまして。

○事務局 次回ご報告をさせていただきます。

○事務局 経済効果という話では、昨年の大会をやった時なんですけれども、当然入場料もありますし、物販もありますし、宿泊費、移動のための交通費等ありまして、6,000万円程度を試算したという話を聞いています。

○梅澤会長 1回で？

○事務局 1回です。

○梅澤会長 昨年度と人数はどのくらい違うんですか。入場者は。

○事務局 体育館に入る人数は変わりませんので、観客数としてはほぼ同じです。

○梅澤会長 こういうのを呼べると良いですね。ぜひスポーツ推進に役立てていただいて。

○事務局 来年はオリンピック直前の1年前の年になりますので、ちょっと他の競技の方にはご迷惑を

お掛けするところではあるんですけども、オリンピックの時にはボルダリングとスピードとリードと3つの種目をやります。それをエスフォルタアリーナで3つをいっぺんにやる世界選手権の開催を来年予定しているところです。詳細はこれから詰めていくところです。

○梅澤会長 皆様からよろしいですか。では次に進みたいと思います。報告事項「(3) 障害者スポーツ普及啓発イベントの開催について」事務局より報告をお願いします。

○事務局 別紙3をご覧ください。来月8月4日土曜日にエスフォルタアリーナ八王子で『パラスポーツを「知ろう」「楽しもう」発見！パラスポーツの魅力』をテーマに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成に向けた取り組みとして、パラリンピックの正式競技となっている「車いすバスケットボール」に関連したイベントを開催します。

当日は、アメリカで制作された車いすバスケットボールをテーマにしたドキュメンタリー映画。これはアジア初上映となりますが、この映画上映のあと、映画の主人公となったアメリカ人選手本人や現役パラリンピアンなどによるトークイベントを行います。選手の生の声を聴いて、車いすバスケットボールの面白さを感じていただきたいと考えています。

さらに、本市在住で平昌2018冬季パラリンピックアイスホッケー日本代表の柴 大明選手と本市のプロバスケットボールチーム「東京八王子ビートルズ」が加わり、事前に募集した参加者の皆さんと一緒に、車いすバスケットボールの体験を行うなど、障害のある方とない方が一緒になって交流を図ります。なお、現在29名の方にご応募いただいております。

これらのイベントが、パラリンピック競技の普及啓発につながり、障害者理解を深める機会となることを期待しております。

報告は以上です。

○梅澤会長 何かご質問ありますか。ぜひパラの普及・発展に努めていただければと思います。

では次に移りたいと思います。報告事項「(4) 市民栄誉章受賞者 中村美里さんによる柔道教室について」報告をお願いします。

○事務局 別紙4をご覧ください。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をスポーツ振興の好機と捉え、9月16日に「オリンピックによる柔道教室」を開催いたします。

講師は北京オリンピックとリオデジャネイロオリンピックの2大会で女子柔道メダリストとなり、本市初の市民栄誉章を受章されました 中村美里さんです。このイベントは昨年度の市制100周年記念事業として行った「スポーツ推進フォーラム」で、中学生からいただいた「オリンピックによるスポーツ教室を開催してほしい」という提言を受けまして実施するものでもあります。

市では今後も、オリンピックなどにご協力いただき、トップアスリートによるスポーツ教室を開催していく予定です。八王子市にゆかりのあるオリンピックに登場いただくことで、本市への愛着を醸成するとともに、子どもたちにオリンピックなどの世界大会を身近に感じてもらえたらと思っています。

報告は以上です。

○梅澤会長 何かご質問等がありますか。よろしいでしょうか。

では、報告事項は以上となります。

○事務局 すみません。先程ご質問があったボルダリングワールドカップのチケットの料金ですが、予選が全席自由席で2,000円。高校生以下は1,000円。準決勝・決勝が指定席4,500円、自由席3,500円。高校生以下は指定席2,000円、自由席1,700円となっております。

○梅澤会長 結構するんですね。ありがとうございます。

それでは報告は以上となります。その他、今までの議論に関連して、あるいはそれ以外でこの場で取り上げるべき事項などございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。以上で本日の案件は全て終了しました。次回の審議会についてですが、9月下旬を予定しております。日程は事務局と調整し、皆さまには後日、通知いたします。以上で、本日のスポーツ推進審議会を閉会いたします。御協力ありがとうございました。

【午後8時28分閉会】

---

上記会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市スポーツ推進審議会会長

八王子市スポーツ推進審議会委員